第43号
2018/12

PVかながわ ニュースレター

News

手軽にできる「省エネDIY」の施工を見て

～窓に断熱シートなどを利用して自分でもできるリフォーム～

神奈川県の環境計画課から、わが家のリビングを実施モデルに貸してもらえないかというお話があり、利用可能なら協力しますと引き受けた。
10 月 16 日(火)朝 9 時過ぎに、県の担当者二人と慶応大学の学生浜田さん、ナレーター役の丸山さんの四人が来訪して、早速作業を始めた。
作業手順の概略は県の HP にあるから参照を。
http://www.pref.kanagawa.jp/docs/ap4/cnt/f536517/p1212849.html に掲載。

① 透明ガラス窓は下準備としてよく清掃、透明が損なわれないようにしておく。その窓枠に(予め両面テープを貼っておく)透明の断熱シートを貼る。
② 断熱シートの余分な部分をカッターなどで切り取っておく。(作業は窓が広いと二人がいい)
③ しわができた部分はドライヤーで、熱を軽く吹きかけて伸ばす。時間が経つと戻ることもある。これが大まかな作業で、難しいことはない。

施工後のリビングの窓

窓枠とガラスの間に約5mmの空間ができるので断熱効果が生まれる。この空間が曇るのを防ぐための乾燥材を忍ばせておく。すりガラスの場合は、波型の凹凸のある不透明なシートを直接ガラスに貼ることもできる。波型部分が空気層となって断熱の役割を果たす。わが家のリビングでは、大きな引き戸の上に 30 cm幅の透明な窓があり、そこに波型のシートを貼ったが、後で妻が「上も透明ならよかったね」と言っていた。
その後は毎日室温の変化を記録している。㋐リビング、㋑キッチン、㋒洗面所㋓中二階 6 畳、の 4 部屋を 7 時、23 時に計測する。温度計は、発信機能があり、パソコンで受信して自動的に記録できるのだが、私の部屋のパソコンでは、受信が不安定な部屋があるので断念して手作業にした。
約 1 か月間室温を計測した概況から、リビングと、なにも施してない中二階の 6 畳とを比較すると、＋3℃前後の差がみられるが、これが断熱リフォームによるものかどうかわからない。体感で温かさが感じられる程度だ。本格的な冬はどうなることか、計測は 2 月まで続ける。
先日近くのホームセンターに行ったら「大学生が省エネ DIY をやってみた！」というわが家のビデオを流して省エネグッズを扱っているコーナーがあった。ちなみに、クリアの断熱シート 90×180 cmが税込み 1,028 円だった。　(横谷 記)

世話人から

連絡事項

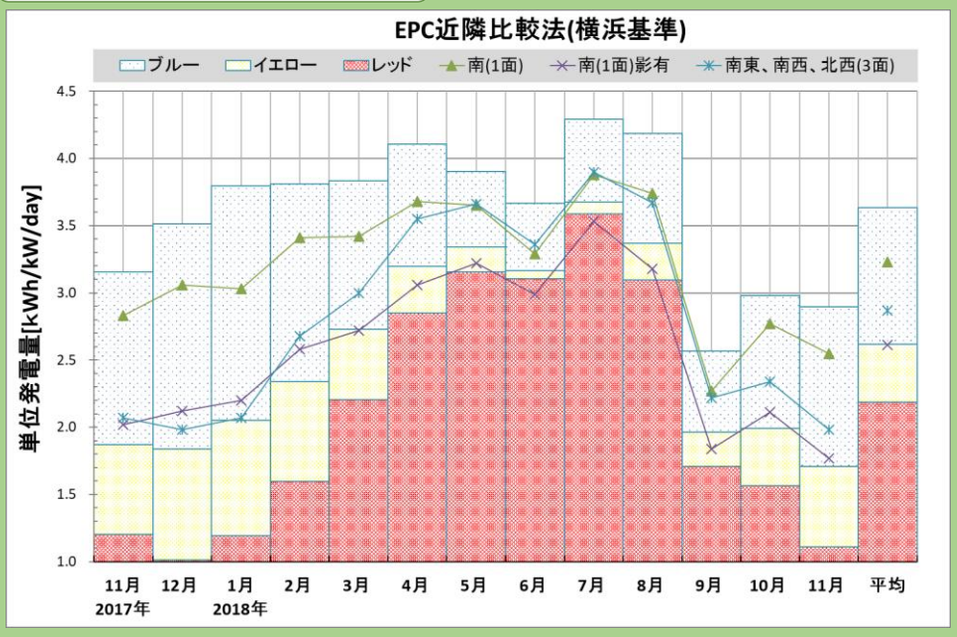
来年11月にいよいよ初めてのFIT満了を迎えます。フォーラムかながわ2019のテーマを下記に決定し、講演の依頼交渉等、開催準備を進めていますので、是非、皆様のスケジュールに入れておいてください。

今後の予定

2019年2月16日(土)
「フォーラムかながわ2019 ～再生可能エネルギー・新たな時代のはじまり～」
場所：横浜開港記念会館
時間：午後

2019年3月31日(日)(予定)
ワークショップ第26回
「出前発電所をくろう！」
会場：「かるがも」(星川駅)
時間：13:40～16:30

今月の単位発電量！



横浜の日照時間は昨年11月より少なかったもののほぼ平年並みでした。気象庁によると11月の天候は、「全国的に天気は数日の周期で変化したが、高気圧に覆われやすく晴れた日が多かった。東日本太平洋側は気圧の谷となりや すく、雲が広がりやすかった。9 日から 10 日にかけては低気圧が発達しながら日本海を通過した ため、局地的に激しい雨の降ったところがあった。下旬の前半はこの時 期としては強い寒気が南下したため、北日本日本海側を中心に雪が降り積雪となったところがあ った。 気温は、北・東日本は暖かい空気に覆われる日が多く、東日本はかなり高く、北日本は高かっ た。沖縄・奄美は南から暖かい空気が流れ込みやすく高かった。西日本は、寒気の影響を受ける 時期と、暖かい空気に覆われる時期があり、平年並だった。」

単位発電量とは、1kWあたり、1日あたりの平均発電量です。毎月の発電量[kWh]を設備容量[kW]と日数で割ってください。平均は直近12か月の単位発電量です。一般的に単位発電量は、ブルーの範囲になることが期待されます。北西など、やや北向きがある発電所はイエローになることもありますが、レッドが続く場合は、メーカなどに相談することをお勧めします。